

平成 29 年 2 月 16 日
若者支援・男女共同参画課

平成 28 年度デートDV防止出前講座の実施状況について

(1) 平成 28 年度の実施校数及び受講者数について

	実施校数(校)	男子受講者(人)	女子受講者(人)	合計受講者(人)
高等学校	13	1,285	935	2,220
専門学校	2	24	115	139
大 学	3	86	123	209
計	18	1,395	1,173	※2,568

※H29.1月末時点で未実施校2校の生徒を除く人数

(2) アンケートの結果について (一部抜粋)

- ①この講座を聞くまで『デートDV』という言葉を知っていたか。
また、意味を知っていたか。

	回答人数(人)	割合
1. 言葉も意味も知っていた	1,112	43.3%
2. 言葉は知っていたが、意味は知らなかった	704	27.4%
3. 言葉も意味も知らなかった	717	27.9%
4. 未回答	35	1.4%
計	2,568	100%

- ②この講座に参加して、デートDV(人権問題)についての関心や理解は深まったか。

	回答人数(人)	割合
1. 大変深まった	1,108	43.1%
2. 深まった	1,272	49.5%
3. 変わらなかった	179	7.0%
4. 未回答	9	0.4%
計	2,568	100%

(3) デートDV防止出前講座を受講してみた感想

・私はDVを受けたことはないが、実際にやられたら怖いだらうと思った。嫌なことは嫌だとしっかり伝えることで回避できると分かった。また、友人などに相談をすることも大切だと知った。日頃から自分を大切に思うことで、相手の事も大切に思うことができると学んだ。私は、自分を大切に思うために何をしているのかと考えてみるとなかなか思い浮かばなかった。なので、これから何ができるか考えてみようと思った。今日学んだ事を忘れずに人と付き合っていきたい。(専門学校生・女子)

・もともと言葉の意味も知っていたので、男性である私たちが女性の身になって気持ちを考えながら接していくことが大切であるという考えは変わらなかった。でも、データを見ていく中で、山形県の性的暴行が多かったり、女性から男性への被害の高い数値にはとても驚いた。もっと理解を深めたいと思った。(高校生・男子)

・こういった話を聞く機会は少ないので、良い経験になった。先生の話はとても分かりやすかった。異性の間だけでなく同性間でも通じる部分はあると思ったので、考えて相手を尊重した行動を取りたい。今日は本当にありがとうございました。(高校生・女子)

・デートDVという言葉と意味を知ることができ、高校生にもそういったことがあり、女性はされたと感じていても、男性はそのことを自覚していないことが多いというアンケート結果があったこともわかった。昔の男は男らしく、女は女らしく、男の方が上という考えは持たずに対等な関係にできるようにしたいと思います。(高校生・男子)

・講座を聞いてやっぱり相手の事を考えることはとっても大事なんだと改めて思った。先生や生徒の演技もあり楽しく学ぶことができた。今日の講座の事をしっかり頭に入れておきたい。私は将来子どもと関わる仕事に就きたいので、人にやさしく思いやりのある行動を心がけていきたいと思う。勉強になった。(高校生・女子)